

ムサシ工業株式会社

大型高出力誘導加熱炉の導入による 鍛造品の生産体制の強化

ムサシ工業は建設機械や農業機械など向けに小型から大型までの鍛造部品を生産する。高い鍛造技術により、品質の高い鍛造部品を安定的に生産し、顧客の信頼を得てきた。エアハンマーの加圧能力と加熱工程の処理能力のアンバランスを解消し、大型の鍛造品を強化するため600キロワット連続式誘導加熱炉を導入した。

会社概況

中国・四国の鍛造会社唯一の大型設備

1970年に浪速鉄工（大阪市港区）、大原鉄工所（岡山県美作市）を含む浪速グループの1社として設立した。設立以来、エアハンマーによる型打ち鍛造を手がけ、建設機械や農業機械、工具、吊り具などの部品を生産してきた。保有するエアハンマーは加圧能力が0.75トンから最大5トンまで幅広くそろえており、特に大型の5トンエアハンマーを保有する会社は中国・四国地域では唯一という。

小型から大型まで鍛造でき、加工技術力が高いため、自社で鍛造設備を持つ工具メーカーが仕事を発注することもあるという。さらに「納期の遅延は一度もない」（堀川眞男社長）など顧客の信頼を主眼に会社を運営してきた。



大型から小型まで鍛造設備を揃える

事業内容

600キロワット連続式誘導加熱炉

エアハンマーを用いた鍛造品の加工は棒鋼の切断、加熱、成型、トリミング、ショットブラスト、検査の7工程がある。生産する鍛造品は十数個から数万個までさまざま。近年は量産品の発注を中国など移管する動きが出ており、大型の鍛造を強化するため、2019年に加圧能力2トンのエアハンマーを導入した。

エアハンマー1台に対して、棒鋼を加熱する連続式誘導加熱炉もしくはバッチ式重油炉1基がセット。エアハンマーの加圧能力に応じて棒鋼を加熱する装置の能力を決める。だが、加圧能力2トンのエアハンマーに加熱装置の能力が対応していなかった。そこで2020年に600キロワット連続式誘導加熱炉を導入した。



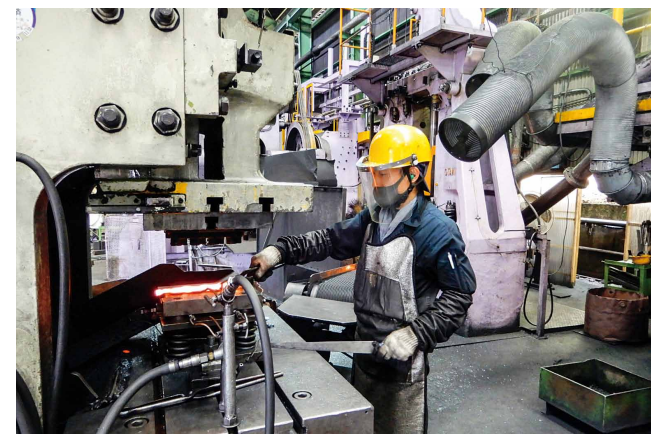
エアハンマーの能力に対応した加熱炉を導入

事業成果

大型吊り具鍛造品を生産

従来の400キロワット連続式誘導加熱炉で加熱可能な棒鋼は最大直径5.5センチメートル。導入した600キロワット連続式誘導加熱炉は最大直径13センチメートルの棒鋼を加熱できる。加圧能力2トンのエアハンマーの鍛造能力に加熱装置の能力も対応し、生産の待ち時間解消やコストの削減などの生産性を向上した。

加圧能力2トンのエアハンマーで鍛造するのはクレーンやフックなどの大型吊り具鍛造品。高い安全性が求められるため、顧客は中国などに移管せず、国内に発注を継続する方針という。昨年来の新型コロナウイルス感染拡大により、新規の取引先開拓が難しい状況にあるが、正常化後は新規開拓に注力する方針だ。



今後は新規の顧客開拓を進める

会社概要

設立 1970年
資本金 3000万円
従業員数 20人
売上高 5億円(2020年1月期)

所在地 岡山県美作市吉214-3
TEL 0868-72-5871
FAX 0868-72-6198
URL <http://www.musashi-industry.com>



ワンポイント

海外人材の積極活用

ムサシ工業は技能実習生として働いていたベトナム人6人を2020年12月と2021年3月、特定技能に切り替えた。特定技能は2019年から運用され、2021年3月末時点で国内に約2万人の外国人が在留する。特定技能1号の在留期間は最大5年。長期的な育成計画を立てて、技術の習得に努めることができる。2020年国勢調査の日本の人口は5年前に比べ86万人減少した。海外人材の活用は日本全体の課題といえる。



代表取締役
ほりかわ まさお
堀川 眞男さん